

湖東普及だより

令和4年
春号

編集発行

滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：數野 幾久）

（湖東農業普及指導センター）

〒522-0071 彦根市元町4番1号

TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp

Facebook アドレス：https://www.facebook.com/hukyuudayori.kotou

Facebook ページ2次元コードはこちら→



みんなでびわ湖を守る！農業濁水対策

浅水代かきのイイところ！

今年も水稻の春作業が近づいてきました。代かきをする時、ほ場の土はどのくらい見えているでしょうか。代かきに適した水の量は、土が7～8割見える状態です（図1）。浅水代かきには次のような効果が期待できます。

- ① 前年度の稲ワラ・大豆残さ・雑草等をしっかり埋め込むことができる。
- ② 土の高低が確認しやすく、均平度合が向上する。
- ③ 代かき後の濁り水、肥料成分が入った水の流出が防止できる。



図1 代かき前の状態（土面割合70%）

ほ場に自動給水栓や水位センサーを設置することで、代かき前の過剰な入水を楽に防いでいる事例もあります。

田植機を更新する時は「自動直進アシスト田植機」に！



図2 深水で田植する様子

昨年、愛荘町で「自動直進アシスト田植機」による田植実演会が行われました。当日は朝から続いた降雨で、ほ場の水深は約9cmと深水状態となりましたが、こんな時こそ本領発揮です。深水で波立つほ場を真っ直ぐ進み、高い精度で田植えが完了しました（図2）。

自動直進田植機は、直前の降雨でも落水せず、楽にきれいに田植が可能です。作業負担が軽くなります。今後、農業濁水対策に有効な技術として期待されます。

「広げよう 君のやさしさ おもいやり」 鳥居本養護学校高等部3年 丸山 仁さん
（彦根市 はーとふるメッセージ2020入賞作品）

大豆「難防除雑草」対策 ～ホオズキ類～

近年、大豆栽培で収量・品質の低下を招く難防除雑草が問題となっています。特に、管内でよく見るホオズキ類（ヒロハフウリンホオズキ、イヌホオズキなど）は出芽期間が長く、水稻との田畑輪換でも種子が減りません。

今回は厄介なホオズキ類を抑える防除ポイントをご紹介します。



湖東地域内でよく見られるホオズキ類
(左：ヒロハフウリンホオズキ、右：イヌホオズキ)

ホオズキ類に対する防除体系の例

時期	大豆の生育 (ことゆたかA1号)	ホオズキ類 の生育	防除時期の目安	防除の内容
6月	中	出芽	・ 耕起前または出芽前まで 雑草が繁茂している場合に使用	非選択性茎葉処理型除草剤 (ラウンドアップマックスロードなど) 散布
	下		・ 播種後～出芽前まで	リニュロンを成分に含む 土壌処理剤(ラクサー乳剤など) 散布
7月	上		・ 大豆3葉期ごろ	中耕培土1回目
	中		・ 大豆4～5葉期ごろ	中耕培土2回目
	下		・ 中耕培土後～開花前まで	フルチアセットメチルを成分に含む 茎葉処理剤(アタックショット乳剤など) 散布
8月	上		開花 結実	・ 開花以降
	中			
	下			

◎ホオズキ類は出芽期間が長期に渡るため、大豆の生育に合わせた複数回の防除が必要です（上表）。
また、実をつけたホオズキ類を抜き取った場合には、ほ場脇などに放置しないようにしましょう。
※除草剤は使用上の注意をよく読んで、登録内容（ラベル）に従って使用してください。

※アタックショット乳剤について

令和元年度から県の「農作物病害虫雑草防除基準」に記載された新しい茎葉処理型除草剤です。この乳剤がかかった大豆の葉には薬害症状（褐変・縮葉・白化など）が現れますので、使用の際は十分にご注意ください。また、薬剤特性（薬害など）をご理解いただくため、購入前に「使用確認書」の提出が必要です。

この農薬登録情報は、令和3年11月30日現在のものです。

除草剤使用にあたっては、ラベルと最新情報をよく読み、使用方法を遵守してください。
必要な場合は農産普及課（湖東農業普及指導センター）までお問い合わせください。

自然災害への備えは万全ですか？

～農業経営を守るための計画づくり～

近年、増加している台風等の自然災害による農業被害を最小限に抑えるには、ハウスの点検・補強や資材の備蓄といった日頃の備えはもちろんのこと、BCPの作成が重要となります。

BCP（事業継続計画：Business Continuity Plan）とは

BCPは災害発生時も中核となる事業を継続し、可能な限り短時間で事業を復旧するための方法をあらかじめ取り決めておく計画です。

災害時の対応を家族や従業員と共有できるだけでなく、平常時の自らの経営の見直し・改善にもつながります。

以下はBCPの作成例になります。皆さんも各経営に応じたBCPを考えてみてください。



台風被害を受けたハウス

～農業版 事業継続計画書（BCP）《台風への対応例（イチゴ栽培農家）》～

策定日	R3年4月1日	家族共有日	R3年4月5日	改訂予定日	R4年4月1日
1. 基本方針 緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。					
1	人命を守る				
2	取引先へのイチゴの出荷を継続できるようにする（供給責任を果たす）				
2. 重要業務と目標復旧時間 以下の業務の復旧を最優先とし、目標時間内の復旧を目指す。					
●●商店	イチゴの出荷継続 目標7日間で復旧				
3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応（代替手段等）					
種別	影響		対応（代替手段等）		
電気	漏水システムがストップする		自家発電機の利用や手作業での灌水		
水道	灌水ができない		井戸水や貯水タンクの利用		
4. 事前対策の実施状況					
分類	項目				
ヒト	安否確認手段	農舎前に集合・点呼	連絡体制	伝言板・災害用伝言ダイヤル	
	避難場所	▲▲小学校、徒歩で通学ルートを通して避難			
モノ	設備使用不可時の対応	農舎使用不可の際は、自宅の作業小屋を利用する			
カネ	手元資金	災害対策用に貯金の積み立てを行う			
セーフティネット	保険加入	収入保険に加入			
情報	PC等使用不可時の対応	データのバックアップ（USB）をとり、自宅書斎に保存			
地域連携	ハズレ・共選施設	●●営農組合と連携して復旧作業を行う			
5. 緊急時の体制 初動対応フェーズ（発生後24時間）			事業継続フェーズ（初動対応終了後）		
○状況確認			○重要業務継続の具体的方法		
確認対象		担当者		対応手順	
従業員	家族を含め確認	◆◆		●●商店との調整	◆◆
○備蓄品の状況			灌水システム修復		
救急箱	○	食料・水	○	ハウス・出荷場修復	△△

詳細は、農林水産省のホームページ「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP」を御覧ください。

また、県では「園芸における事業継続計画の策定について」を作成しましたので、必要な方は当課までお問い合わせください。

褒章を受けられました

令和3年「秋の褒章」 西山 英一氏（豊郷町）

鉢花栽培に精通され、卓越した技術力と高い先見性により、安定した経営を展開してこられました。

経営開始当初はシクラメン栽培に取り組み、給液作業の軽労化を目的に底面給水システムを導入されるなど、積極的に生産の効率化を図られました。

その後も市場からの情報収集を欠かさず、消費者ニーズの把握に努められた結果、近年はニチニチソウ栽培に取り組み、新しい仕立て方で特許を取得されるなど、他の生産者との差別化を実現されています。平成23年にはオリジナル仕立てのニチニチソウがJFITレードフェア2011でベストプランツ賞を受賞するなど、市場からも高い評価を受けておられます。

平成9年には県指導農業士となり多数の研修生を受け入れ、その指導にあたるなど、後継者の育成に尽力されました。

また「とよさと特産物振興協議会」の会長を務めるとともに、近隣の養護学校の卒業生を雇用し農福連携の基礎を築き、教育分野と農業との交流を模索されるなど、地域との連携を大切にしてくださいました。

このように高い技術力による安定経営と地域農業振興への貢献が評価され、今回の受章となりました。今後のさらなる御活躍が期待されます。



オリジナル仕立てのニチニチソウ

「食」の情報発信サイト

滋賀のおいしいコレクション



「食」の情報発信サイト「滋賀のおいしいコレクション」では近江米や近江牛、旬の農産物など様々な「滋賀のおいしい」を発信中！！

生産者や産地の紹介、滋賀の食材を買える・楽しめるお店などの検索機能も充実しています。

「滋賀のおいしいコレクション」ぜひ一度ご覧ください！

<https://shigaquo.jp/>

滋賀のおいしいコレクション



SNSでは、旬の食材や県産食材を使ったお店の最新情報を発信中！ぜひチェックしてください。

Instagram



Facebook



この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。